

## シェアハウスこうじゅ(関西光澍館)の概要

〔住所〕 〒561-0856 豊中市穂積1丁目2番25号 関西光澍館

〔構造〕 鉄骨3階建(2階3階がシェアハウス)。屋内廊下。ベランダ・エレベーターなし。駐輪場・洗濯干し場有。

〔居室〕 壁芯 13.95 m<sup>2</sup>(3m×4.65m)。エアコン、クローゼット、机、ベッド、照明、テレビ、小型冷蔵庫等設置。

布団、湯沸かしポット、炊飯器等は、希望者に無料で貸し出し。

〔共用部〕 2階3階: シャワー室各1室。トイレ(男女共用)。洗面所。洗濯機・乾燥機各3基。談話室各2室。

1階: 風呂(男女別・浴室約14 m<sup>2</sup>+脱衣室)。男女別トイレ。厨房約20 m<sup>2</sup>。食堂約50 m<sup>2</sup>。喫煙所。

(1階は立正佼成会の境内地ですが、シェアハウス入居者は利用できます。)

〔費用〕 家賃40,000円。共益費7,500円(共用部電気2,500円、水道2,000円、ガス1,500円、清掃等1,500円)。

居室電気2,500円。エアコン電気代は個別料金。→家賃・共益費とは別に必要。

〔契約〕 賃貸借契約(1年自動更新)、敷金礼金なし。保証人・緊急連絡先不要。火災保険料必要。保証会社原則必要(ただし保証会社が無理な場合、月額5,000円を家賃・共益費等の2ヶ月分(10万円)に達するまで、貸主に預けて積立)

〔入居開始日〕 2020年2月1日～

〔主な入居対象者〕 下記のような人で、共同生活が可能な人。(原則は男性)

- ・入居初期費用や保証人がない人。携帯電話・緊急連絡先がない、家賃滞納歴などで保証会社の審査に通らない人。
- ・(同一建物内での)身近な関わりやサポートが必要だが、老人ホームや生活保護施設ほどは必要ない人。
- ・完全な一人暮らしでは、ひきこもり状態に陥る危険が高い人。
- ・働いている(働く予定がある)が、ネットカフェや知人宅暮らし等では、精神的金銭的に苦しい人。
- ・家族や親族との関係上、別居してサポートを受けた方がいい人。
- ・完全な一人暮らしでは不安な人。

〔女性・母子世帯の場合〕

- ・短期受入は可。長期入居は原則不可。

(単身者1ヶ月前後、母子世帯2ヶ月前後を目途に、他の住宅への転居を進める。この場合、定期借家契約または一時生活支援事業利用になるが、一時生活支援の適用や転居費用の確保等、行政や支援機関等からの支援が必要となる。一時生活支援以外で、2週間以内の場合、賃貸契約なしの試し入居のみも可)

〔入居を断るケース〕

- ・反社会的勢力関係者。
- ・共同生活が困難な人。

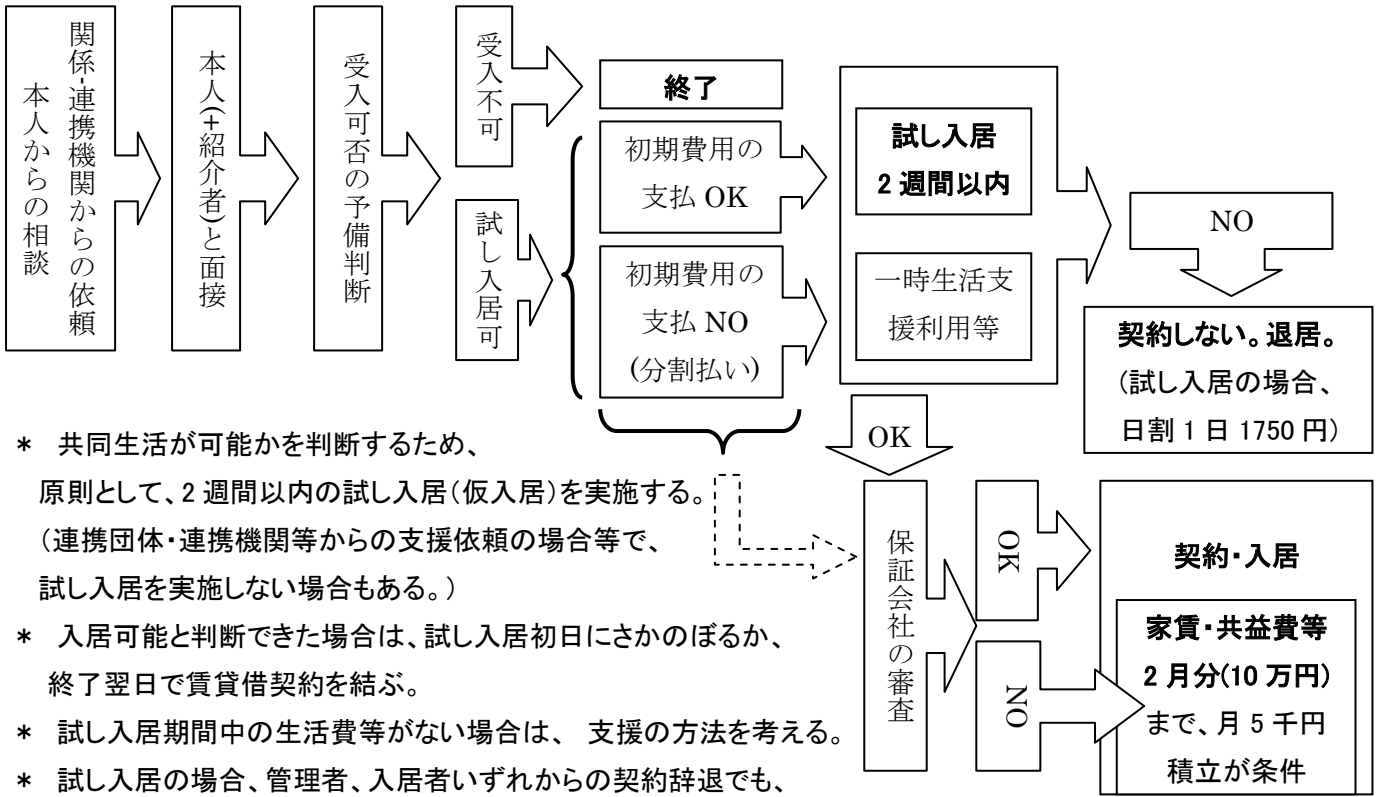
〔生活支援〕 必要な人に無料でおこなう。

- ・金銭管理、服薬管理、通院同行等(公的サービス利用を原則としつつ、必要に応じて足りない部分をサポートする。(金銭管理は、別途同意書を作成)
- ・福祉サービスの利用サポート(訪問看護・訪問介護、デイサービス・作業所など、医療・福祉サービスの利用をサポート)
- ・孤立防止・見守り(声かけ、在室確認、日常生活の相談などを通じて、孤立防止をはかる)
- ・入居者間の交流(互助会・食事会等を通じて、入居者間の交流と仲間づくりをサポートする)
- ・その他、求職活動、各種通知の説明、手続き・申請同行、配食サービス探し等、生活の再建と維持に必要なサポート。

〔生活支援以外の支援〕

- ・イベント等を通じて、地域住民・外部支援者との関係づくりを進める。
- ・2020年6月頃から、外部カウンセラーによる傾聴カウンセリングを、2ヶ月に1回程度予定。(入居者以外も利用可能)

〔入居の流れ(通常の賃貸借契約の場合)〕



- \* 共同生活が可能かを判断するため、原則として、2週間以内の試し入居(仮入居)を実施する。(連携団体・連携機関等からの支援依頼の場合等で、試し入居を実施しない場合もある。)
- \* 入居可能と判断できた場合は、試し入居初日にさかのぼるか、終了翌日で賃貸借契約を結ぶ。
- \* 試し入居期間中の生活費等がない場合は、支援の方法を考える。
- \* 試し入居の場合、管理者、入居者いずれからの契約辞退でも、退去日までの日割分1日1,750円が発生する。

(計算方法=(家賃40,000+共益費7,500+居室電気代2,500+居室エアコン代2,500)÷30=1,750)

〔事務所開所時間〕 管理人兼生活支援員が常駐。(ただし、臨時閉室日や職員不在時もあり)

- ・祝日除く月～土曜 : 9:00～21:00
- ・日曜日(盆休み、年末年始を含む) : 13:00～21:00
- ・夜間宿直は当面なし。入居者からの連絡体制を整備し、30分以内に職員が駆けつけられる態勢を整備する。

〔責任体制〕

